廃局（上足寄郵便局）交渉もの別れに

へき地の郵便局を廃止して合理化をという、これからどこの町村にもおきそうな問題ー。

北海道郵政局では上足寄郵便局を八月一日から廃局と局報で告知したものの地元の反対にあつて実施延期のやり直し告知という〃前代未聞〃の事態となり、同局ではなんとか十一月一日からの廃局をめざして深海郵務部長、高橋庶務係長に渋谷十勝特定局推進連路協議会長（吉野郵便局長）らが二十一日に来町して、足寄町青少年会館で住民代表とはじめての話し合いをおこないました。

上足寄地区から山内、鷲足町議、阿部振興会長に各自治会役員など十五名が出席して、小林町長のあいさつがあつてから

深海部長　上足寄局の廃局についてなんとかお願いしたい、八月一日から四局ほど廃局することにしたがみなさんのなつとくが得られず弱つたが、私どもの立場として決めたことは直せないと申しあげ、一歩引きほかの三局には内しょにして頂く約束で、とりあえず延ばすことにした、十一月一日の廃局をご諒解して頂きたい

ー郵政局として住民の声をきかずに民主化の時代に正しいといえるか、地元と話し合いもなく赤字だからやめる、もうかればやるでは国の行政ではない

深海部長　その辺のかねあいが難しい、会社と違つた判断となる、収入の範囲内で支出する地方自治体の公営企業の性格をもつが、計算だけでなくバランスをみてやつている

ー国鉄でも地元の要望をきいてやつている、郵政だけは住民無視に疑念をもつ

白糠線は赤字でも開通した農林省では道内で二カ所の自然休養村の準備をしている上足寄は営林署の事業主体で、畑中チップ工場がこと操業、近くオガタンもでき、玉川木工場も宿舎をふやすという、小学校は四つを統合した、こんごレジャー観光の人々が集中され阿寒へ通じ陸別への分岐点であり、明るい見通しの矢先に局をなくするのは過疎に拍車をかける、二、三年ようすをみて頂きたい

深海部長　そういうことを知らないでやつたのでなくニュアンスが違うかもしらないが百九戸くらいとなつた、全然なくすのではなく代案（民間委託の簡易郵便局）を出しており、代案は廃局となつてからで、二三年ようすをみてほしいというが、七月に二回おあいしており寝耳に水はおかしい、利用されるお客様なのでできればなつとくして頂きたい、不満足ながら四局のうち三局はやつてもらつた、残つたのはこちらだけである

ー永井課長補佐が昨年調査にきたときは廃局するとはいつていない

深海部長　その辺がことの焦点で、私どもとしてはなつとくして頂いたものとその点不充分だつたが、ゆけるとの推定だつた、私どもの舌足らずと感ずる

ーすくなくとも近い将来廃局するということもない

深海部長　永井課長補佐が意思表示したものと思つていた　無視したのでない

ー上足寄の場合は貯金などに協力して成績があがつているのに勝手に廃局されては困る

深海部長　三局はスムーズに廃局となつたのに私どもにはハプニングとなつた延ばしてそのうちになつとくして頂くことにしたのでご不満でも十一月一日よりお願いしたい、なんとかご辛抱願いたい

ースレ違つている、十勝でもつと小さい局があるのにヤリ玉にあげるのはなうとくいかない、地元が反対しても決定するのか

深海部長　決定するのならこない、無理押しはいけない、最後まで努力したい

ー上足寄より小さい局があるのにリストにあげた原因をききたい

深海部長　上足寄より倍の局も廃局にしている

ー原因はなにか、民間の建物を借りているためか

深海部長　そんなことはない、人口の推移など一般的なことによる

ーなにかあるからではないか

深海部長　地元になにかあるかきいていない、一般的な見方で、きいていない

高橋係長　調査にきて事実を正確に調査している

深海部長　調査にいくと不安がるのであからさまにいわない、局長によつてはきたなと思う

ー一方的にやつた、永井課長補佐によつて地元が諒解したというのか

深海部長　ゆけるだろうと判断した

ーなんの話しもなく廃局はなつとくしない

渋谷会長　連絡不充分だつたと思う、合理化一辺はどうか、上足寄の件は局舎の問題があり鷲足氏の私有で相当年数がたち、十勝管内九十七局のほとんどが新しい局舎となり小さな局でも建てなければならないが長期使用の見通しを立てることで要素のひとつとなる

ーいまとなつてはなつとくしない、住民はなにもしらないから運動もできなかつた、住民はみなおこつている、白紙に戻して出直してもらいたい

混海部長　白紙はカンベンして頂きたい

ー最低限度何名となるか局員をすこしへらしてでもおいてもらいたい

深海部長　いまが最低である、こうしてほかより三倍も話し合いしている、今回は係長では荷が重すぎるので権限のある私がきた

ーヤブから棒のはなしで上足寄へきて話し合いすべきで、この場所でわれわれは引きうけられない

などのヤリトリがあつて深海部長はこのあと時間をかけても併行線であり、帰札を急いでいるとのことで話し合いは一時間でものわかれとなりました。

（正面右から渋谷会長、深海部長、高橋係長、小林町長）

行か再延期か

○…国民へのサービスよりも安あがりの行政をめざしての郵政合理化ー池北三町での一番手が上足寄に向けられたのは、局舎が老朽化していることと全逓の組合員がいないところへもつてきて簡易局受託希望者がいるので、郵政当局ではこれはゆけるとネライをさだめた格好。

○…しかもいつたん局報をもつて正式に廃局を発表しておいてのこの始末では立場もメンツもなく、こんごの合理化への悪例？ともなるので、最高責任者の部長がわざわざ出向いたのは異例なことで、これで礼をつくしたとしてパッサリと廃局を強行のおそれ充分。

○…しかし上足寄地区は自然休養村から国立総合大学への展望をもつ重要地帯としてこれから発展が期待されようというときに、ただ目先の状態だけで住民の声を無視してことをすすめようとするのなら、全部落が一致して郵便貯金の払い戻し、簡易保険の解約を決行することにしてこれを阻止し、当面は再延期をはかりあらゆる手段で存続を期しており、この住民パワーが郵政合理化のカベを突き破ることができるかどうか、これからが攻防戦。

田中総理の構想

総合大学は足寄へ

足寄町議会

定例三回の足寄町議会は二十六日午前十時にひらき会期を二日間として、はじめに大滝長から諸般の報告があつてこれにたいする質疑入りました。

鳴海議員　国立総合大学は各学部を分散できるのか十勝として運動が一致できるのか

大滝議長　帯広畜産大学を拡充して総合大学にするには土地が狭いので学部を各町村に分散となるが、国立総合大学は五万都市づくりで学生、教授など二万人とそれに関連しての自治体機能など三万人で五万人となる、第二点の六カ町村が名乗りをあげバラバラだが十勝として一致して誘致運動にあたり候補地はこれこれとして統一してすすむことになつた、どの町となるか道の判断をまつことになる

湯浅議員　一市十九カ町村は最後はバラバラとなるキレイごともよいが、道に任せることに決定したのか文部省と町村との話し合いがなされなければならない田中総理は阿寒国立公園とハッキリしている、足寄以外はどうか、畜大の総合大学は農業全体なのか

大滝議長　田中総理と道知事との話し合いで出てきた、総理は幹事長時代に阿寒の上を飛びオンネトーの地域に設置してはとのことが基本で知事との話し合いとなつた、知事は道として候補地を決定するが総理の考えも入る、道の基本構想が出ないかぎり運動は一本でやれる　畜大の総合大学化は多年の願望で中断せずやつているが、土地がないのでそれぞれ学部は適地へ分散させる

湯浅議員　明るい現実的な答弁があつたが、知事が野中温泉を候補にあげて話し合つたのが事実なら相当の根拠があるがどうか

大滝議長　知事が野中温泉を申したのでなく総理があの地域に設置したいといわれたので、十勝としての第一候補地であると確信している

つづいて小林町長と新津教育委員長から行政報告があつて質疑をおこない、ついで各常任委員会に付託の陳情案件についての調査報告があつて、ラワン地区の栄橋架換、道路側溝、新道の開設をいずれも採択、西小学校新築に関する中間報告、肉牛などの本州視察の報告がありました。

この日は珍しく一般質問の通告がなかつたので（開町いらいのこと？）議案に入り、町表彰条例の全文改正については功労者の表彰は条例によつて議決をへることにし、町職員や公職者などの勤続表彰は規則によつて理事者が選考して実施することについては、表彰式を従来どおり同列に扱うべきでないとの意見が強く出され、文化の日の表彰は功労者だけとし勤続表彰は、別個におこなうことになり、芽登支所を生活改善センターに移す条例の改正のあと予算審議に入り、午後四時に散会しました。

上斗伏町有林工事

足寄町では上斗伏町有林の地拵え工事を八件にわけてこのほど地元九業者を指名して競争入札をおこなつた結果、つぎの各社が落札しました。

▲一号　一六、一〇％　一一四万五千円　大川組
▲二号　一一、七三％　八七万五千円　相沢林業
▲三号　一二、六二％　九一万五百円　工藤林業
▲四号　一三、六三％　九一万一千円　高橋組
▲五号　一三、五九％　九九万円　大川興業
▲六号　一二、九四％　九四万円　宮口産業
▲七号　一三、四三％　九八万九千円　清水組
▲八号　八、五〇％　六五万円　高橋組

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
久保呉服店
足寄町　T二一四八

ハミリ
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T二五一二

新畳　表替　中古畳　ふすま張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T二四二八

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T二三四五

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二三二一番

技術に生きる！
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
ーあらゆる電気器具ー
有限会社
ミネ・デンキ
足寄劇場前　電話2642番

新しい機械と技術で！
整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
板金・塗装　武藤悦啓
二級整備士　武藤衛賢
足寄町農業共済組合前　T二五七八